

川西町立大塚小学校 令和6年度 第3回 学校運営協議会議事録

- 1 日 時 令和7年2月20日(木) 13:15~15:20
- 2 場 所 大塚小学校 会議室 他
- 3 出席者 加藤・菅井・飯澤・長谷川隆・長谷川勝・相馬・青木・奥山・瀧澤・平田・松岡・校長・教頭
- 4 資料確認・日程説明
- 5 協議会 13:15~ 進行 殿岡教頭

(1) 開 会 菅井副会長

(2) 挨 拶

①加藤会長

・センター主催雪祭り参加について御礼。過日、町防災研修会での女性の立場での避難所のあり方等について学ぶことがあった。大塚地区として、今後の災害時に生かしていきたい。

②木村校長

・私達は共に育つという姿勢のもと、「子どもだけでなく、職員と保護者を育てること」「教師志望者が増えるような持続可能な学校づくりを行うこと」が大切だと考えている。その為には、今後とも、経験豊富な委員の方々、地域の方々からの協力が必要である。

(3) 1~6年授業参観 13:25~14:10

(4) 報 告 座長 加藤会長

①令和6年度地域学校協働本部事業について 殿岡教頭・瀧澤委員

・別紙資料に基づき教頭より説明する。瀧澤委員より、成果と課題について補足を行う。今年度は天候にも恵まれ、スキーを始めダリヤ総選挙など実施できた。又、自転車を使用する交通安全教室は、毎年、気を引きしめて実施してる。元宿橋から八幡十字路に向かう登り道では、脚力のない児童は道路中央に寄ってきて危険であり、自動車の運転のさまたげになるので、立哨者には特に気をつけてもらっている。

(5) 協 議

①令和6年度学校運営の総括および令和7年度学校運営方針(案)について 木村校長

- ・7年度については、「故郷とともに歩む学校づくり」を経営方針の一番に掲げ、生活科・総合的な学習を中心に地域を知り、地域に発信する学習を推進する。
- ・中学校の部活動地域展開にあわせ、土日祝日は授業日を設定せず、子供たちが地域で学び活動できるように支援する。PTA学年行事も今年度同様、平日開催をお願いしていく。
- ・教職員としての専門性の向上に力を入れる。
- ・「経営の視点」においては、学習指導の中で、前年度までの学習内容の復習・定着を大事にする。
- ・年間計画には、後期に新しく保護者面談を設定した。
- ・入学児童の推移については、令和6年度1年10名 4年14名 合計80名に訂正。令和7年度以降スライドする人数2名プラスになる。転出等あれば、令和8年度2・3年生複式になる可能性もでてくるが、小学校統合については、令和8年度からスタートする第6次総合計画に何らかの方向性が出されるようである。

(加藤会長) 消滅可能性自治体は多数ある。小さいうちにお祭りや伝統など、地域の良さをしっかりと学んでほしい。地域の行事等とも密接な学校づくりであってほしい。「故郷とともにある学校づくり」を経営方針の一番に据えたことに賛成である。

(菅井副会長) 現在、川西町の部活動地域展開の推進役を務めさせていただいている。参考までにお話させていただく。令和7年度からは中学校の部活動は任意加入。令和8年度には土日の部活動はなしとなる。

②令和7年度学校運営協議会について 殿岡教頭

- ・来年度もぜひ6年生と委員の方の交流会を持ちたいと思っている。

(木村校長) 委員の改選期にあたる。充て職もあるが、ぜひ、皆さんに継続していただきたい。

(青木委員) 来年度継続については少し考えたい。

(長谷川勝委員) 歴代PTA会長は来年度から大沼藤一氏になるので変更となる。

(木村校長) 改めて個々にお電話させていただきますのでよろしく願いいたします。

③その他

○創立130周年記念事業について 殿岡教頭

- ・資料を基に説明。反対意見なし。

○奥山委員より意見

- ・「学童保育の使用場所」と「夏季休業中のプール開放」について

センター使用だけでの学童開催はスペースが狭くなってきているのが現状である。そのために、高学年の利用の制限などせざる得ない状況である。地区としても学童の在り方を改めて考える時期になってきている。学童では、夏休み中に学校のプール使用を認めてもらえないと指導者の苦労が重なり大変である。せめて浅い方だけでも利用させてもらえないか。他地区では数日利用してる地区もあったが、学校としてどう考えているのか教えていただきたい。

(木村校長) 夏休みのプール開放については、昨年度、町校長会でも検討し、教育委員会へ相談した。プール開放については学校判断という指導があり、今年度は前年度内に本会においてプール開放を行わないことに承認をいただきという経過から、プールの開放は行わなかった。プールまでの往復にスクールバスの利用も認められていない中、水泳中や道々での危険性を考えると、プールを開放することは今年度も考えていない。プール以外の学校施設は積極的に開放したい。

(殿岡教頭) 監視員の問題もある。教員は夏休み中も研修が組まれたりしている。センターが中心になるなどして、地域の方にプールの管理や監視をお願いできればありがたい。

(奥山委員) 「できない」という考えでなく、「どうしたらできるか」という視点から進めていってもらえればありがたい。

(加藤会長) 奥山委員から意見があったように、ぜひ、「どうしたらできるか」という考え方に立って進めていただければありがたい。

(6) 閉 会

菅井副会長